

新津鉄道資料館活性化基本計画／ ミッション・運営方針・事業内容(案)

かつて、「西の米原，東の新津」と謳われたほどの，新潟市に息づく鉄道文化を市民の誇りとするとともに，楽しさと懐かしさを織り交ぜた新たな魅力を創造し，全国に向けて発信力のある鉄道資料館づくりを目指します。

新津鉄道資料館のミッション	運営方針	運営方針内容	事業内容	説明
<p>《交流人口の拡大と地域の活性化を図ります》</p> <p>(1) 新津鉄道資料館を，新潟市独自の「文化施設」として再生し，その魅力を内外に発信することで，人々が集い，交流する中から地域の活性化を目指します。</p>	<p>① 快適に過ごせる施設づくりを行う</p>	<p>2階の空き部屋を活用し，資料館施設を拡充することで展示・パブリックスペース・企画事業が実施できるスペースを確保します。また，多数の市民が利用する公共施設である資料館として，快適な環境づくりや資料館として必要な設備を整えます。</p>	利用者サービスコーナーを設置する	ショップ・カフェ・休憩・インフォメーションコーナーなどを新たに設置します。
			キッズコーナーを設置する	幼児等が鉄道文化に親しみながら安心・安全に遊べる空間を新設します。
			空調設備の改善を行う	スペース拡充と環境改善のために空調設備を新たに増設します。
			バリアフリー化を行う	2階部分までのバリアフリーを公民館施設と共有し，改善します。
			資料の劣化防止対策を行う	温湿度管理，光の影響（赤外線・紫外線）等の改善を行い，資料の劣化防止に努めます。
	<p>② 魅力ある交通アクセスの向上を図る</p>	<p>「どこにあるのかわからない」の解消と交通手段の確保に努めるとともに，鉄道文化に触れる楽しさをまちなかにちりばめることで距離感をなくしていきます。</p> <p>「また来たい」と思っていただけのような地域の“おもてなし”を商店街や地域と共に取り組むことで，魅力ある交通アクセス向上に繋げていきます。</p>	新津駅からの交通手段を確保する	レンタサイクルや，区バス・民間バスなどを有効活用したシャトルバスの運行により交通アクセスの向上を図ります。
			新津駅付近の各種表示板等に資料館PRとアクセス表示を行う	新津駅の東西自由通路や駅周辺に統一されたデザインによる案内板と誘導板を設置し，PRも併せて行います。
			主要幹線道路に誘導看板を設置する	国道・県道・市道・資料館入り口など主要幹線道路や施設周辺に誘導・PR看板を設置します。
	<p>③ 鉄道文化の情報発信をする</p>	<p>情報伝達の方法を広く見直し，活用することで，効率良く情報発信に努めます。</p> <p>他の鉄道文化施設とイベント等での連携や相互PRなどで協力し合い，情報発信力を高めていきます。また，駅前にサテライト施設を設置し，資料館の情報を提供します。</p>	ホームページの作成，ソーシャルネットワークを活用する	魅力的なHPを作成・更新し，情報をいち早く，わかりやすく発信するとともに，全国の鉄道文化施設のHPとリンクさせ，全国に向けた情報発信を行います。
			鉄道雑誌掲載や市広報を活用し，マスコミの協力を得る	イベントや，展示替えなどの情報をあらゆる情報媒体を通じて発信します。
			全国の鉄道文化施設との連携による効果的な情報を発信する	お互いの施設のパンフ・チラシの設置やHPのリンク，イベント時での交流PRや情報交換，など効果的な広報活動を進めます。
			地元の人たちから「鉄道の街にいつ」の情報を発信する	「鉄道の街にいつ」の誇りを地元市民と共有し，市民自らが来訪者へ伝えていく活動を構成します。
新津駅前にサテライト施設を設置する			新津駅前に鉄道資料館のサテライトを設置し，資料館の広報・交通アクセスの向上を図るとともに，シティガイド等の活動拠点とします。	
<p>《鉄道文化の発信拠点にします》</p> <p>(2) 鉄道のまちの“記憶”を再発見するとともに，最新技術を含めた新たな資料を収集し，わかりやすい展示を行いながら，新津をはじめとした鉄道文化の魅力を発信します。</p>	<p>① 鉄道の“記憶”をたどる</p>	<p>展示方法や構成を見直し，歴史と生活文化から観ている人たちの記憶を呼び覚ますことで，新津・新潟の鉄道資料館「らしさ」を醸し出しながら他の鉄道文化施設にない個性的で魅力ある展示にしていきます。</p>	昭和の新津駅の再現展示を行う	実物の鉄道資料を利用した新津駅等の再現展示コーナーを設置します。
			新潟交通電鉄，蒲原鉄道など廃線になった私鉄資料の展示を行う	新津・新潟の鉄道にまつわる歴史やその時代の背景，風土などをリンクさせ，ストーリー（物語）を展示構成することによって，観覧者の心に深く共感・感動を呼ぶ展示を行います。
			新津，新潟の鉄道の歴史と生活文化の展示を行う	例：鉄道の要衝地新津と新潟，鉄道と生活・産業発展と鉄道，雪との闘い 等
	<p>② 魅力的なコンテンツづくりと展示を行う</p>	<p>鉄道愛好家のみでなく，幅広い年齢層や家族連れにも来て，見て，触れて，楽しめる展示にするために新規展示品の導入と展示ブースの見直しを行います。</p>	シミュレータを新規導入する	新規のシミュレータの導入を行います。
			鉄道映像等の更新，新規導入をする	幅広いジャンルの鉄道映像を新規に導入し，来館者が自由に観ることができる機器を用意します。
			実車を展示する	JRからの協力により，魅力ある実車を展示します。

			鉄道模型パノラマ展示を見直す	従来のパノラマ展示構成を見直し、より新津・新潟らしい鉄道模型パノラマに改善するとともに、来場者が自分で体験できるようにします。
	③ 鉄道技術の紹介を行う	産業としての鉄道を紹介するため情報や資料の収集に努め、新しくわかりやすい展示にしていきます。	新津・新潟の鉄道資料を展示する	次のような鉄道技術などの資料・紹介展示ブースを設置します。そのために、関係機関との連携を持続的に図ります。 ① 上越新幹線ブース：今年、開業30周年を迎えた上越新幹線の設備を展示し歴史を紹介します ② 新津車両製作所ブース：JR唯一の車両製作所で車両が完成するまでの紹介と、今まで製造された車両の模型を展示します ③ 鉄道貨物ブース：経済を支え続けている鉄道貨物の歴史と資料を展示します ④ 「ばんえつ物語号」ブース：新津になじみのあるC57 180号機の紹介とばんえつ物語号の資料を展示します ⑤ その他、目的達成のために必要なブースを設置します
	④ 鉄道文化に関心を持つ人々を新たに獲得していく	新津・新潟にまつわる鉄道に関する文化・生活・技術について調査し、その成果を定期的に企画展や特別展等を実施し紹介する。	魅力ある特別展等を実施する	鉄道関係組織や鉄道関係企業、鉄道財団等と連携し、特別展を開催します。また、新津・新潟にまつわる鉄道に関する調査を行い資料を展示します。
	⑤ 効率的なマネジメントを行う	資料館の魅力発信やイベントなどの企画、さらには施設の管理・運営を支える体制づくりと予算の確保を図るとともに、行政と地域が協働して、新しい資料館の魅力づくりを行っていくための関係構築を進めます。	資料館の管理運営の体制づくりを行う	館長及び専門職員、事務職員などを配置し、企画事業や管理運営を効率よく行います。
施設運営予算を確保する			魅力ある企画展示や快適な施設環境を実現するための予算確保を行います。	
			地域団体や鉄道関係団体の協力を得て事業を行う	地域団体や鉄道関連団体の協力を得て事業を行うことで、地域の人材を活用した資料館運営と活性化に取り組みます。
<p>《人づくりと地域の連携による事業を展開します》</p> <p>(3) 鉄道文化を継承・発展する人づくりと地域・市民・企業との連携により、魅力ある事業の展開を図ります。</p>	① 鉄道文化を学ぶ学校教育を支援する	地域文化と鉄道文化を後世に残し、活用していくため、学校教育との連携を深めていきます。歴史や知識を学ぶインプットを通して、自らの地域の誇りと歴史を再認識する中から新たにアウトプット事業を学校と共に実施していきます。	学校教育における施設活用を支援する 学校授業等へ「出前鉄道資料館」を実施する 地域文化と鉄道文化の浸透による文化の継承と人づくりを行う	地域文化を学ぶ学校教育の場としての活用を行います。各学校と連携し、子どもたちの年齢に合わせた学習カリキュラムを作成します。 職員が学校や地域に出向いて「出前鉄道資料館」を行います。 子供たちによる資料館来場者への「鉄道資料館ジュニアガイド」または駅周辺を中心に紹介する「鉄道のまち歩きジュニアガイド」を育成し、イベントやまち歩き事業の際に活用するとともに、地域文化を学習・継承・発展する人材を育成していきます。
	② 地域・市民・企業・鉄道文化施設などとの連携を強化する	地域各種鉄道団体や企業と連携し、鉄道文化の魅力をイベントや企画展示で紹介するとともに、鉄道をまちづくりや地域活性化の視点でもとらえることで様々な切り口での事業に取り組んでいきます。	まちなかに「鉄道」をキーワードにした仕掛けづくりを行う 商店街、市民のおもてなし活動を行う	新津駅から資料館への導線上にある地域・商店街などと連携し、フォトパネル、フォトシール、モニュメント、ストリートファニチャーなどを設置します。 地域に来られた方々への気遣いやお茶などのおもてなしを地域・商店街などと連携し、資料館への誘導につながる取り組みを行います。
	③ 鉄道文化と地域文化を担うひとづくりを行う	「西の米原、東の新津」として、地域資源である鉄道の歴史と文化を見つめ、掘り起こし、学び、インプットした後に市民自らがシティガイドなどのアウトプット事業に取り組むことで、地域に誇りと活性化を呼び込む取り組みを進めます。	地元市民による鉄道シティガイド（仮称）設置への支援と連携を行う 地域の鉄道関係者による「新津鉄道資料館サポーター（仮称）」発足への支援と連携を行う	地域の歴史や文化、資源を掘り起こす中から、自ら学び、地域を魅力的に伝える人材育成に取り組み、活性化に繋げていきます。 鉄道資料館を中心として、実車の清掃活動団体や、資料館・地域のガイド団体など、地域の鉄道関係団体を横断的に組織することで、様々な課題に対処するとともに、地域を挙げて鉄道のまちづくりへとつなげていきます。